

第1章 再整備にあたっての基本的な考え方

◆再整備の背景

整備から40年が経過した現在も、多くの市民にご利用いただいている一方、施設の老朽化・陳腐化が進み、今後、大規模改修で多額の経費が必要である。また、日本水泳連盟の公認基準を満たしていないなどの課題がある。これら諸課題を解決し、市民の健康増進や、競技力向上、ポートアイランドの活性化に向けた再整備を行う。

◆現施設の現状と課題

メインプール (50mプール・8レーン)	大会利用と専用利用が利用者全体の9割以上。 水深が深いため、一定の泳力がなければ利用できない。
サブプール (飛込プール)	メインプールで開催される大会のサブプール利用が大半。 飛込競技の利用は平成18年度の兵庫国体以降ほとんどない。
通年プール (25mプール)	現在のレーン数・水深では大会を開催することができない。 一般利用・教室利用ともに利用できるレーン数が限られる。
スケートリンク (メイン・サブ)	一般利用が多く、1日で1,500人以上利用する日もある。 夜間はほぼ毎日、各競技による専用利用が行われている。 サブリンクは初心者・子供が利用しやすく、教室も開催できる。

第2章 導入機能

①メインプール（夏季）

50m・10レーン（公認）・水深3m

②サブプール（夏季）

25m・6レーン以上・水深2m以上

③通年プール

25m・8レーン以上（公認）

※①、③は可動床等により、一般利用・競技利用の併用を可能とする。

④スケートリンク（冬季）

メイン60m×30m、サブ18m×28m

⑤観客席

固定席3,000席以上（仮設席の設置による大規模イベントの開催も可能とする）

⑥その他諸室等

大会運営に必要な諸室や、健康増進機能、民間提案による機能等を備える。

第3章 施設整備計画

◆1階平面イメージ（延床面積：14,000㎡程度）



◆断面イメージ（短手方向）



◆再整備の基本方針

基本方針1 競技力の向上（する・みる・ささえるスポーツの推進）

- ・大会開催に必要な基準を満たす施設とし、全国級の大会誘致も目指す。
- ・競技団体等と連携し、地元選手の競技力向上を図る施設とする。
- ・学校園をはじめ、誰もが利用しやすい施設とし、子供たちが“本物”を体験できる施設とする。

基本方針2 市民の健康増進

- ・幅広い世代の方々が気軽にスポーツに親しみ、健康づくりができる施設とする。
- ・市民がそれぞれの目的・ライフスタイルに合った使い方ができる施設とする。

基本方針3 ポートアイランドの活性化

- ・高齢者から、子育て世帯・学生など若い世代まで、多世代にわたる利用を促進する。
- ・研究機関や大学、医療関連企業が集積するポートアイランドの特性や、本施設の立地条件等を踏まえながら、ポートアイランドの活性化に寄与する施設を目指す。

第4章 事業手法等の検討

◆本施設の事業手法

PFI手法（BTO方式）の採用を前提に、今後の検討を進める。

◆本施設の整備費

概算額 約125億円（類似施設の事例などを参考に試算）
今後、民間事業者へのサウンディングを実施するなど、精査を重ねていくものとする。

◆整備期間

令和4年度	事業者募集資料の検討・作成、事業者募集
令和5年度	
令和6年度	事業実施（設計・施工・開業準備） ↓ 供用開始
令和7年度	
令和8年度	
令和9年度	

再整備の計画地

所在：神戸市中央区港島中町5丁目1-17

